

プレゼンテーションの評価項目

スライド	文字情報	大きさ 色 スタイル(太字・斜体) 書体(フォント)	見やすいフォントサイズだったか 統一した色使いだったか スタイルの変化が多すぎなかったか 種類が多すぎなかったか
	視覚化	数字・データの視覚化 概念・プロセスの視覚化	グラフは適切だったか 図解は適切だったか
	イメージ情報	大きさ バランス レイアウト	小さくて見づらくなかったか 文字情報とのバランスはよかったか わかりやすい配置だったか
	演出	演出の程度	アニメーションは多すぎなかったか
発表	時間配分	時間配分 質疑応答	時間内に収まったか 時間内に収まったか
	話し方	声の大きさ 話すスピード メリハリ(抑揚) ことば遣い 専門用語	声の大きさは適切だったか 話すスピードは適切だったか 重要な部分をゆっくりはっきり話したか 場にふさわしいことば遣いだったか 専門用語の説明に配慮したか
	態度	姿勢 身振り・手振り 表情 ユーモア 目配り	正しい姿勢だったか 身振り手振りは適切だったか 表情は豊かだったか 場にあったユーモアが感じられたか 聞き手に視線を向けていたか(アイコンタクト)
内容	構成		問題設定→本論→結論が明確だったか
	目次		話す前に道筋を示したか
	論理性		話筋が通っていたか
	客観性		信頼できる資料か(ネットだけではダメ)
	独自性		あなたのオリジナリティを示したか

井上智義、北神慎司『プレゼンテーションの方法』（「勉強のやり方がわかる。」朝日新聞社(アエラムック)、2004年、pp. 13～21)を参考に作成しました。